

わが家の防災メモ

〈避難場所のメモ〉 災害別にどこに避難すればいいのかをメモしておきましょう。

	洪水のとき	土砂災害のとき
指定緊急避難場所		
指定避難所		

〈家族のメモ〉 家族のデータを記入しておきましょう。

家族の名前	生年月日	血液型	持病・常用薬 アレルギーなど	緊急連絡先	電話(勤務先/学校)
M・T・S H・R 年 月 日		型	Rh (+ -)		
M・T・S H・R 年 月 日		型	Rh (+ -)		
M・T・S H・R 年 月 日		型	Rh (+ -)		
M・T・S H・R 年 月 日		型	Rh (+ -)		
M・T・S H・R 年 月 日		型	Rh (+ -)		

緊急連絡先 (市外局番 01656)

●警察 110番

美深警察署 音威子府駐在所
5-3300

●火事・救急車 119番

音威子府消防支署 **5-3200**

災害用伝言ダイヤル 171

電話を利用する声の伝言板です。

171にダイヤルするとガイダンスが流れます

録音の場合 1を押す 再生の場合 2を押す

「被災者」は自分の電話番号を、
「被災者以外」は被災者の電話番号を
市外局番からダイヤルしてください

1 伝言を録音 ※30秒以内 1 伝言を再生

9 終了 8 もう一度聞く

9 別の伝言を聞く

(※固定電話や携帯電話・PHS・IP電話が利用可能です)

携帯電話各社の災害用伝言版

携帯電話などをを利用して安否を登録・確認が
可能で。地震や風水害などで被災地との
連絡が困難になった場合に災害用伝言版が
開設されます。

各社公式サイトのトップ画面「災害用伝言版」を選択

伝言を残す(登録する) 伝言を読む(確認する)
場合、登録を選択 案、確認を選択

現在の状態を「無事です」
などの選択肢から選び、
任意で100文字以内の
伝言を入力する

安否確認したい方の
携帯電話の番号を
入力して検索する

登録を選択

音威子府村

地域防災マップ

2020年3月版

も ぐ じ

大雨について知りたいこと 1
雨の強さと降り方／大雨に対する心構え

大雨に関する情報について 2
気象庁が発表する情報／洪水予報

大雨・強風に備えよう 3
適切な避難行動を確認しよう

水害時の情報の流れと避難の呼びかけ 4
大雨や洪水に関する防災情報

皆さんのとるべき行動 5
避難するときの注意点

土砂災害を知ろう 6
いろいろな土砂災害／土砂災害から身を守るために

暴風雪に備えよう 7
家の中で安全に過ごすために／やむを得ず車で外出するときは

もしも吹雪で車が動けなくなったときは!

非常持出品・非常備蓄品を備えよう 8
非常持出品／非常備蓄品

備えるときの注意点 停電に備えましょう

避難場所一覧表 9～10
指定緊急避難場所／指定避難所

音威子府村地域防災マップ 11～26
索引図、No.1～No.7

わが家の防災メモ／緊急連絡先 27

大雨について知りたいこと

雨の強さと降り方

雨量や雨の強さを表す用語が、どの程度の雨の降り方を表しているのかを知っておきましょう。

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ					
ザーザーと降る雨	どしゃ降りの雨	バケツをひっくり返したような雨	滝のように降る雨	息苦しくなるような圧迫感がある雨	
浸水害・洪水害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと災害が発生するおそれがあるため注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれる	下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する	大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要
土砂災害の発生状況	小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい		

大雨に対する心構え

① 大雨対策について知っておこう →P3参照

大雨に対しどのような対策をとれば良いかを知っておくと、いざというときに落ち着いて行動できます。

大雨に関する情報は10日先まで入手することができるため、次の対策を図るよう心がけましょう。

- 風が強くなる前に家の外の点検をしましょう。
- 停電に備え、携帯電話の充電、懐中電灯・携帯ラジオなどを用意しておきましょう。
- 大雨の影響で断水する可能性があります。断水に備え、食料・飲料水の用意や、浴槽に水をためるなどの対策を心がけましょう。
- 避難場所を確認しましょう。

② 気象情報・避難情報の意味を理解しよう！ →P2,P5,P6参照

気象災害から身を守るために、危険度の高まりに応じて注意報・警報・特別警報が段階的に発表されます。また、災害の切迫度に応じて避難情報等が5段階の警戒レベルで発表されます。これらの情報がどのような意味なのかを日頃から確認し、いざ発表されたときに速やかに対応できるように心がけましょう。

③ 避難する場合は「浸水が始まる前」！早めの避難を心がけよう！ →P4参照

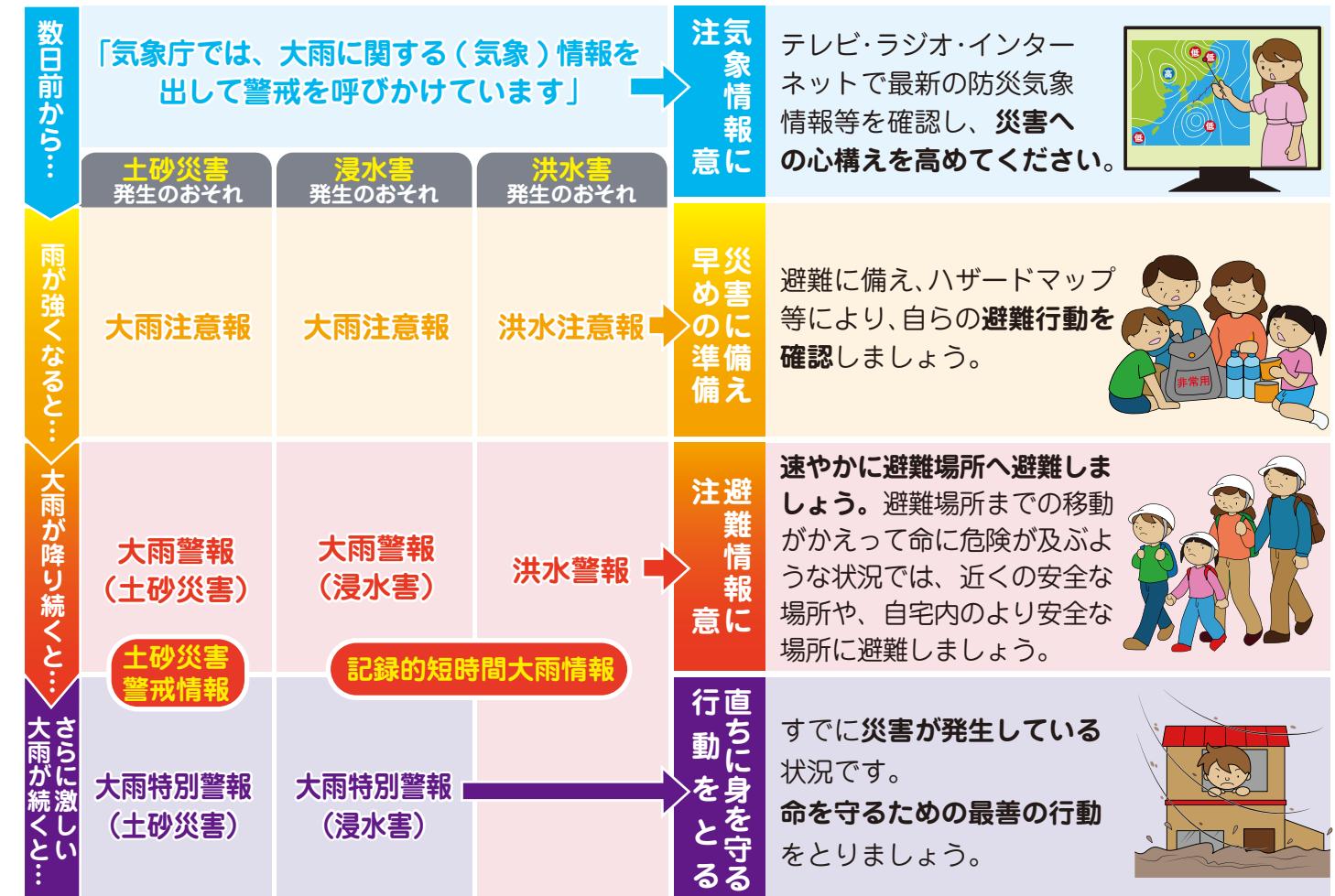
浸水の中の避難は大変危険です。洪水の正しい避難行動は、浸水が始まる前に避難することです。

洪水ハザードマップから自宅や職場などの浸水の状況を確認し、避難する場合は早めの避難を心がけましょう。

大雨に関する情報について

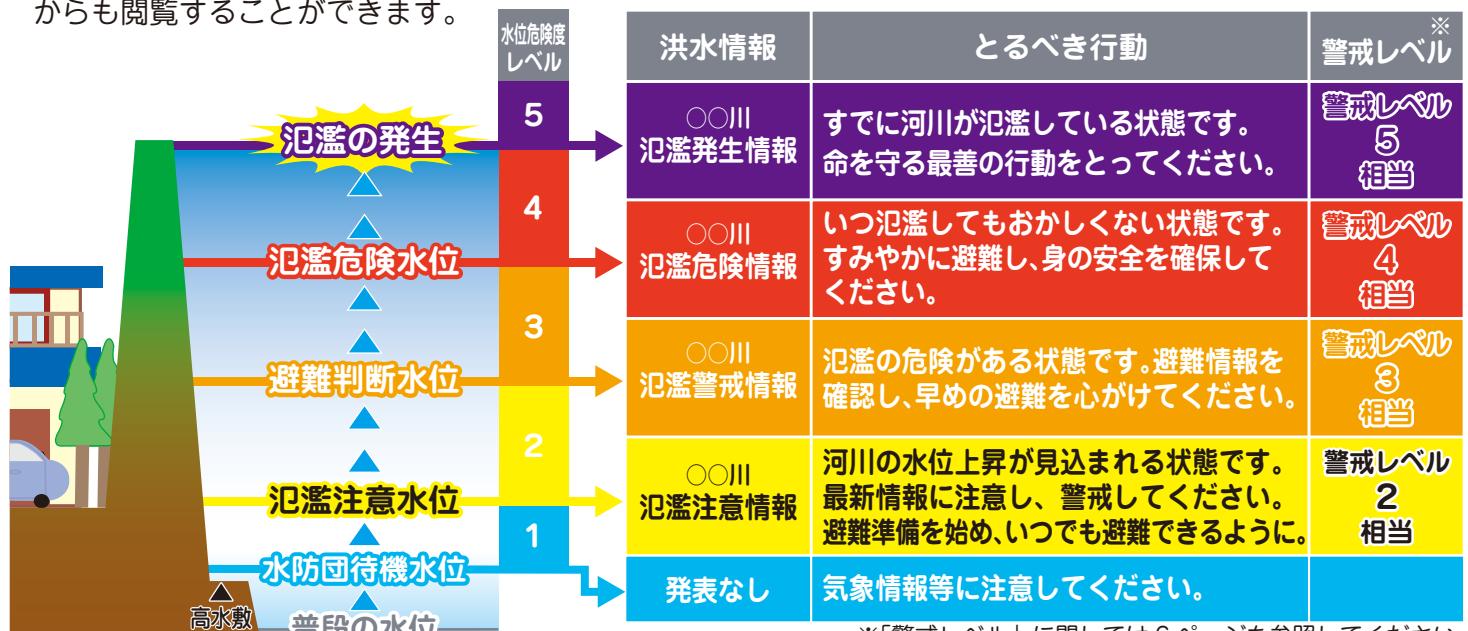
気象庁が発表する情報

災害の発生するおそれがあると予想したとき、警報や注意報を発表して災害に対する警戒や注意を呼びかけます。



洪水予報

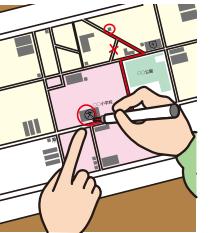
国土交通省(旭川開発建設部)は、気象庁(旭川地方気象台)と共同し、あらかじめ指定した河川(村内の指定河川は天塩川)の洪水予報を発表します。洪水予報は、報道機関のほか、気象庁や国土交通省のホームページからも閲覧することができます。



大雨・強風に備えよう

①避難場所や避難経路を確認しましょう

日頃からハザードマップを見ておきましょう。

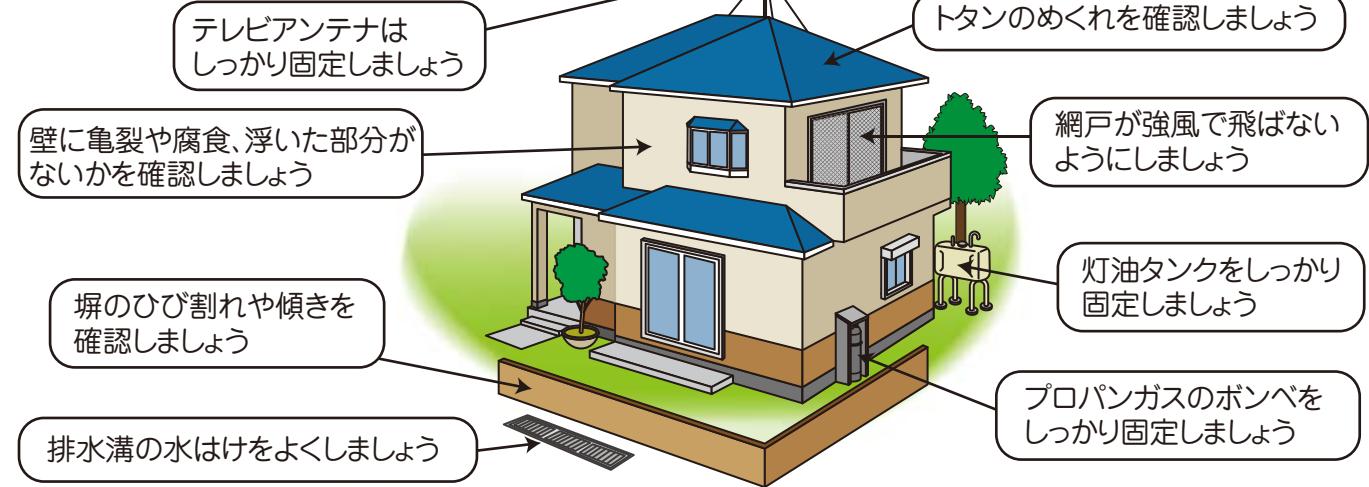


②防災グッズを点検しましょう

非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう。



③家の点検・整備をしましょう



危険が近づいてきたら…

気象情報を確認しましょう



強風のときは窓ガラスにガムテープを貼りましょう



外出は控えましょう



植木などは室内に入れましょう



大雨のときは貴重品を2階に置きましょう



竜巻注意情報が発表されたら…

竜巻注意情報が発表されたときや、竜巻のきざしを発見したら身を守る行動をとりましょう。

竜巻のきざし



屋内では…

- 窓やカーテンを閉めて窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。
- 家の1階の窓のない部屋に移動する。
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。



真っ黒い雲が近づいてきた



屋外にいたら…

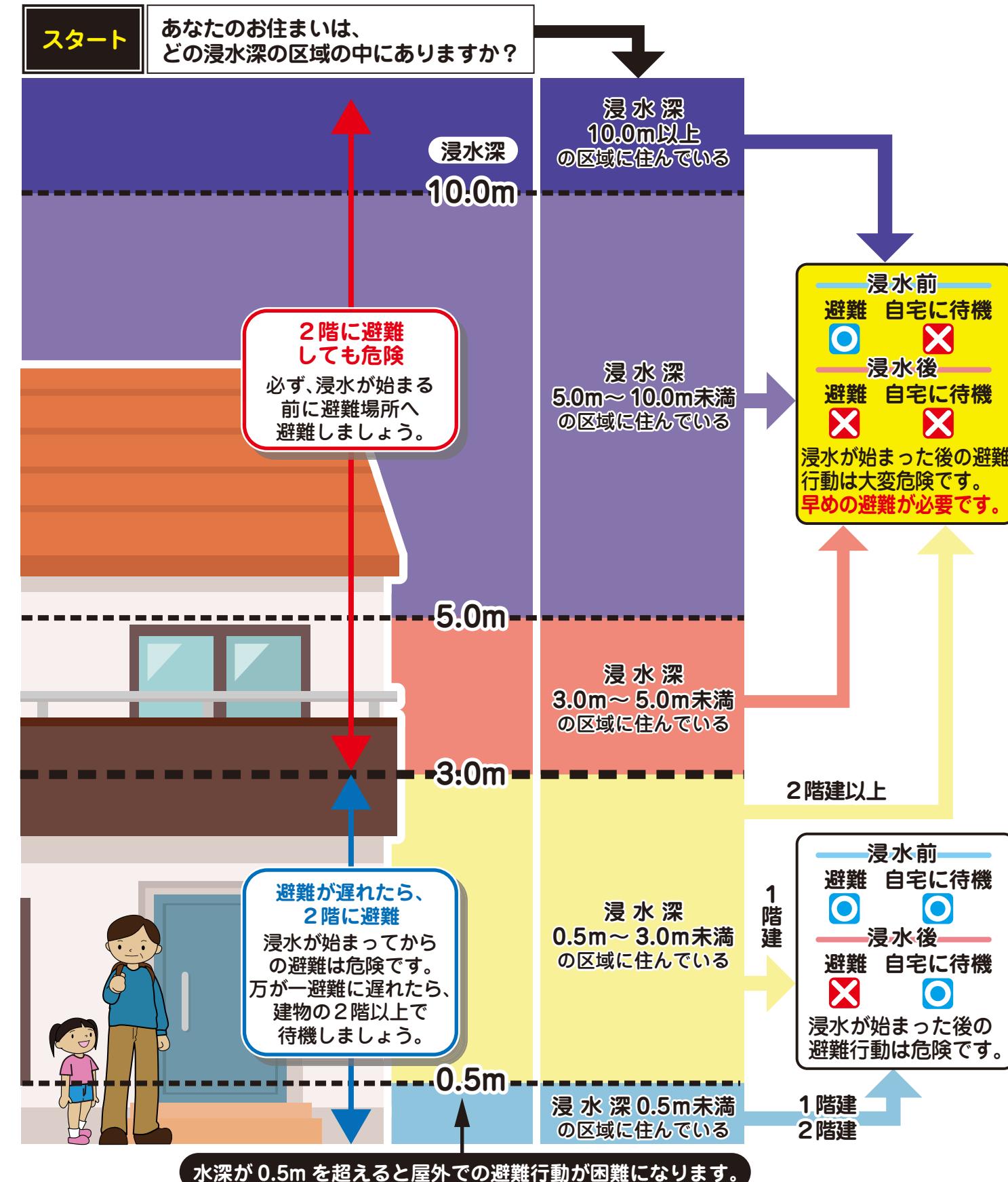
- 頑丈な建物の中へ避難する。
- 避難できないときは物陰に入って身を小さくする。
- シャッターが開いていたら閉める。
- 物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険！



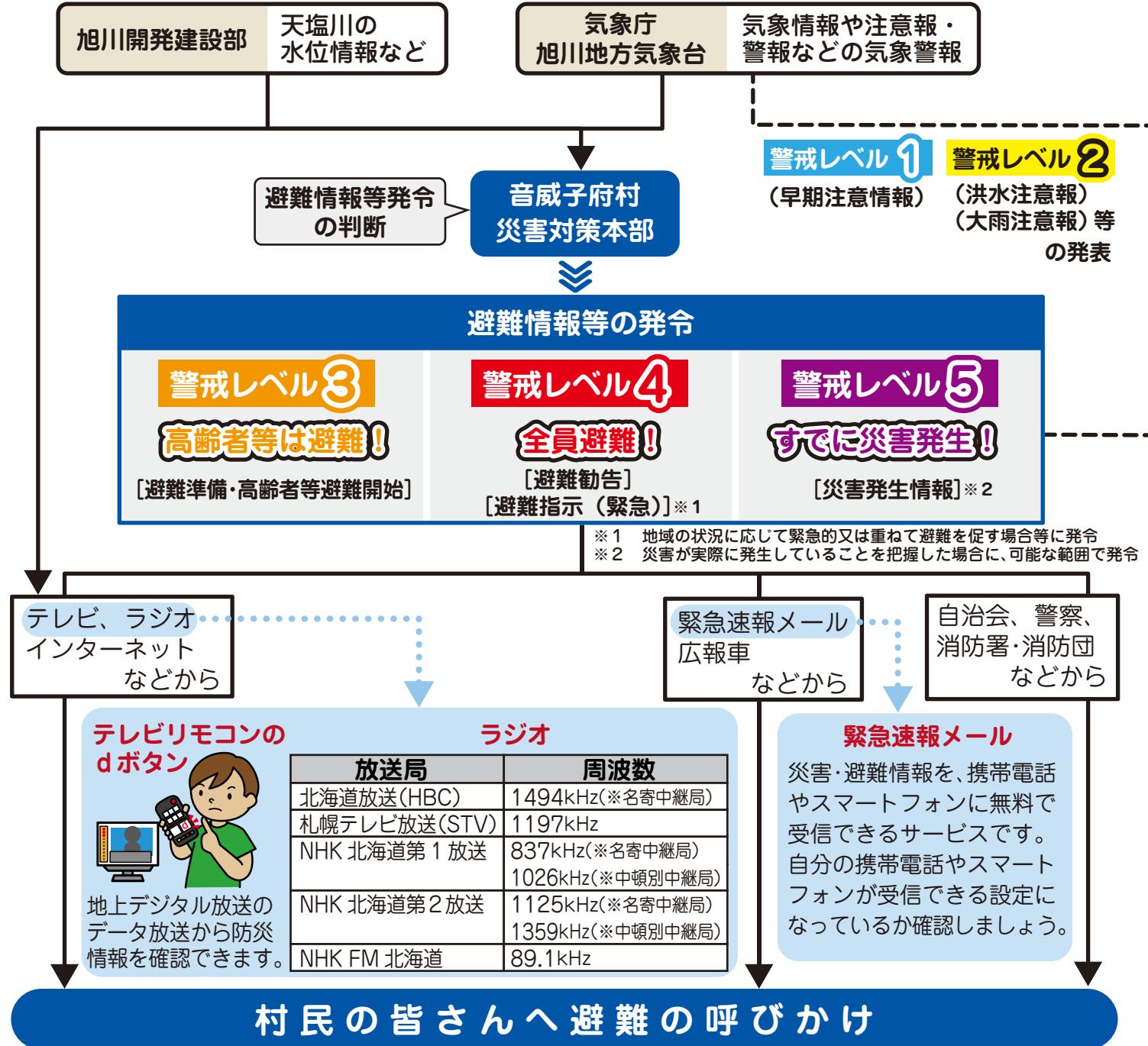
適切な避難行動を確認しよう

洪水(河川の氾濫)によって市街地や建物、畠が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます(道路や農地が水で覆われることを冠水ということもあります)。一般の建物では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水する恐れがあり、3m以上では2階も浸水する恐れがある

ため、2階への避難ができません。洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ことですが、万が一の事態に備え、P13～P26のハザードマップで自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するなどを確認し、下のフローチャートからいざというときの避難行動について確認しておきましょう。



水害時の情報の流れと避難の呼びかけ



大雨や洪水に関する防災情報

レーダー・ナウキャスト (降水・雷・竜巻)

レーダー観測などをもとに、降水、雷、竜巻の予報を提供しています。

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

指定河川洪水予報

河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるよう、指定河川の水位または流量を示した洪水の予報を提供しています。

<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

降水短時間予報

局地的に短時間で降る雨の予報を30分おきで6時間先まで提供しています。

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

北海道土砂災害警戒情報

土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表しています。

<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>

川の防災情報

リアルタイム雨量・水位の情報を提供しています。水防警報、洪水予報やダム放流も通知します。

<http://www.river.go.jp/>

皆さんのとるべき行動

警戒レベル1 が発表されたら… 心構えを高める

テレビ・ラジオ・インターネットで最新の防災気象情報等を確認し、災害への心構えを高めてください。

警戒レベル2 が発表されたら… 避難行動の確認

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル3 が発令されたら… 避難に時間を要する人は避難

避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は、避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。



警戒レベル4 が発令されたら… 安全な場所へ避難

速やかに避難場所へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動がかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。



警戒レベル5 が発令されたら… 命を守る最善の行動を

すでに災害が発生している状況です。命を守るために最善の行動をとりましょう。

【警戒レベル5】ではすでに災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。
【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。

*各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

！ 避難するときの注意点

浸水の中の避難は、とても危険です!! 浸水前の避難を心がけましょう!

動きやすく安全な格好で

避難するときは、動きやすく安全な服装にしましょう。ヘルメットや防災ズキンで頭を保護しましょう。靴はひもでしめられる底の厚い運動靴を履きましょう。長靴は浸水が深いと中に水がたまるため動きにくくなります。素足は厳禁です！



車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。



歩ける深さに注意

歩行可能な水深は、ひざの高さくらい(約50cm)です。水の流れが速ければ、20cm程度でも要注意です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



足元に注意する!

水面下にはマンホールや側溝などの危険があるため、長い棒を杖代わりに突き、確認しながら進みましょう。



自宅待機への備え

自宅待機した場合に備え、P9「非常持出品・非常備蓄品を備えよう」を参考に、必要なものをそろえておきましょう。



★避難するときは、ガス・電気・火を消し、戸締りを忘れずに！

土砂災害を知ろう

いろいろな土砂災害

土砂災害の多くは、雨が原因で起こります。

1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



かけ崩れ



土石流



地すべり

こんな前ぶれ現象に注意！

以下のような前ぶれ現象を察知した場合は、土砂災害が発生する可能性があります。

直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防署・警察署へ通報してください。

- 山鳴りがする
- 沢や井戸の水が濁る
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
- 川の流れが濁り、流木が混ざり始める
- 小石がパラパラ落ちてくる
- かけから水が湧き出てくる
- 普段嗅いだことのない腐った土の臭いがする



土砂災害から身を守るために

まわりに「土砂災害危険箇所」があるか確認しましょう

日頃から自分の住んでいる家のまわりや避難場所までの経路に土砂災害危険箇所があるか、ハザードマップで確認しましょう。



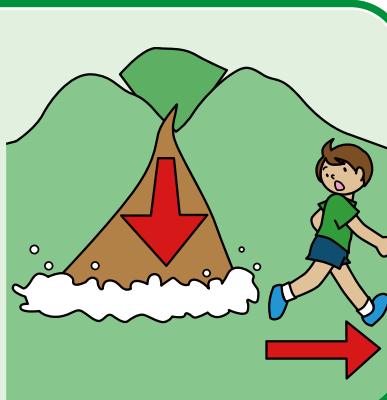
雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」に注意しましょう

雨が降り出し、土砂災害警戒情報が発表された場合は、避難の準備をし、町の避難勧告などに従い、速やかに避難しましょう。



避難するときの注意点

- 避難場所へ移動する立ち退き避難が基本です。
- 避難場所や安全な場所へ避難する際、他の土砂災害危険箇所の通過は避けましょう。
- 土石流に関しては、渓流に対して直角方向にできるだけ渓流から離れましょう。
- 屋外での移動に危険が伴う状況下では、立ち退き避難がかえって危険であるため、このような場合は、建物の2階などのより高い階にある山の反対側の部屋に待機しましょう。



暴風雪に備えよう

暴風雪に関する気象警報などが発表されたとき、外出しないことが身の安全を守るための最善の対策です。暴風雪から身を守るための対策を日頃から理解し、いざというときに備えてください。

家の中で安全に過ごすために

一酸化炭素中毒

雪でFF式暖房機の給排気口がふさがれると、一酸化炭素が家中で充満して命に危険が及ぶ可能性があります。給排気口が雪でふさがれていないか定期的に確認してください。

陸の孤島

道路の通行止めによって交通網が寸断され、食品や日常生活用品などの物流がストップする可能性があります。食料や日頃から服用している薬など、万が一のために備えておきましょう。

停電

暴風雪によって停電が発生する可能性があります。懐中電灯、携帯ラジオ、電気を使わない暖房器具なども準備しておきましょう（P10の「停電に備えましょう」も参考にして下さい）。暖房器具やカセットコンロは換気を良くして使用しましょう。また、30分に一度はしっかり換気しましょう。

やむを得ず車で外出するときは

天気の急変など車が立ち往生することを想定して以下の物品を車に備えておきましょう。また、十分に燃料があることを確認しましょう。

毛布



カイロ



手袋・帽子



防寒着



寝袋



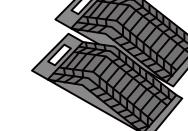
長靴



スコップ スノーブラシ



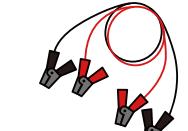
スノーヘルパー



けん引ロープ



ブースターケーブル



食料・飲料水



携帯トイレ



!

もしも吹雪で車が動けなくなったときは！

!

車の外に出て大丈夫な状況ですか？

暴風雪によって発生するホワイトアウトは、方向感覚を失い、道に迷う危険性があります。おさまるまでは車内で待ちましょう。

情報を入手しましょう

ラジオや携帯電話で気象情報や道路情報を確認しましょう。



原則エンジンは停止しましょう

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると、一酸化炭素が充満して命に危険が及びます。エンジンは原則停止し、防寒着や毛布等で体温の低下を防ぎ、救助を待ちましょう。

近くに施設はありますか？

近くにコンビニや道の駅がある場合には、速やかに避難し、天気の回復を待ちましょう。



マフラーの状況に注意しましょう

防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、マフラーが埋まらないよう、こまめにマフラーの周りを除雪しましょう。



救助を依頼しましょう

JAFなどのロードサービスや近くの店・人家などに救助を求めるでしょう。避難できる場所や救助を求められる人が近くに無い場合は、消防(119)や警察(110)に連絡して、車の中で救助に備えてください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置き、車が目立つようにしておきましょう。

非常持出品・非常備蓄品を備えよう

非常持出品

できるだけ身軽に避難できるようにするため、非常持出品は避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。

非常持出品は、リュックサック等に入れて避難するときの通り道、玄関、寝室等に置いておきましょう。

ラジオ 照明器具



衣類、救急・衛生用品



非常用食品



貴重品



各自必要なもの



移動に必要なもの



非常備蓄品

災害発生直後、飲料水や食料等は、入手することが困難な状況が想定されます。またライフラインが途絶えた場合を想定し、数日間（最低3日間）を生活できるように各家庭で備えておきましょう。

飲料水 食料品



カップ麺・レトルトご飯・缶詰
レトルト食品・冷凍食品など
水は1人1日3ℓが目安

カセットコンロ ガスボンベ 固体燃料 調理器具



調理器具は、やかん、なべ、
おたまなど

洗面用具



水がなくても洗える
ドライシャンプー
などもあるとよい

生活用水



断水になった時のために、風呂や洗濯機に貯水しておくのもよい

寒さ・暑さ対策



身体を温める：ポータブルストーブ（電池式・ガスボンベ式）、
使い捨てカイロ、サバイバルシート、防寒着、
手袋、帽子、毛布など

身体を冷やす：冷却シート・瞬間冷却材など

長期保存できる日用品や生活必需品



ティッシュペーパー、トイレットペーパー、
ラップ、予備電池、予備ガスボンベなど、災害時に入手困難になる可能性があるため、
長期保存できるものは多めに備えておく

！ 備えるときの注意点

●備蓄した食品のうっかり賞味期限切れを防ぐために…

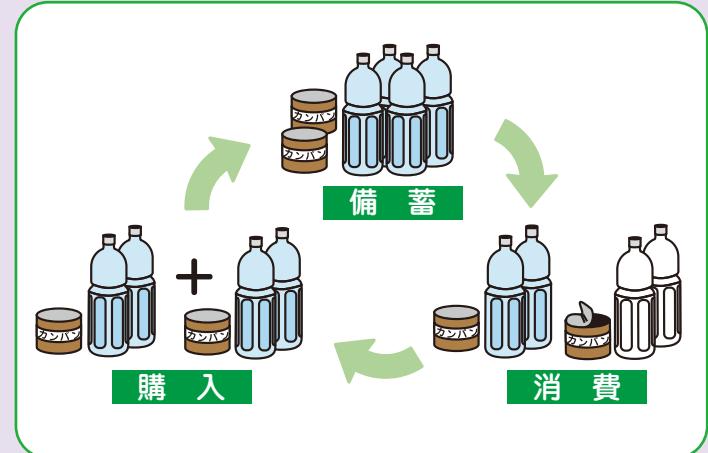
ローリングストック法 のすすめ



保存用の食品を備蓄しておくことは大切なことですが、いつの間にか賞味期限が切れていて破棄したり、賞味期限が迫ってあわてて保存食を食べなければいけないということに陥ったりします。そこで、**日常の中に食料備蓄を取り込むローリングストック法**という考え方があります。

ローリングストック法は、日常的に食材・加工品を少し多めに購入し、賞味期限が近いものから消費します。そして、消費した分だけを買い足することで、**常に一定量の備蓄をしておく**という方法です。この方法のメリットは、備蓄量を一定に保ちながら消費と購入を繰り返すので、備蓄品の鮮度が保たれ、いざという時でも日常生活に近い食生活を送ることができるところです。

食品の備蓄の目安は、最低でも家族人数分×3日分です。飲料水の備蓄も同様で、定期的に料理などに使うことで循環させています。



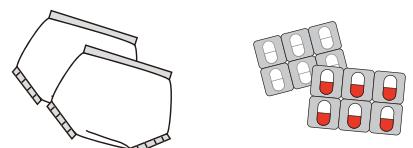
●家族構成に合わせて準備しましょう

高齢者や身体の不自由な方がいる家庭

介護・看護用品、紙おむつ、服用薬など身体状況に合わせて準備しましょう。

赤ちゃんがいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、おむつやミネラルウォーターなど。お子さんの状況によっては離乳食やスプーンも準備。



停電に備えましょう

夜間、周りが見えない！

懐中電灯(LEDライト)、ランタンなどを必ず乾電池と一緒に備えましょう。ろうそくは火災を招くおそれがあるため使用は控えましょう。

家電が使えない！

家電製品の使えない状況を想定して調理手段を備えましょう。（P9「非常備蓄品」参照。）また、テレビやパソコンが使えず情報収集ができなくなるため電池で動くラジオを備えましょう。

断水した！

停電による給水ポンプの停止などによる断水に備えましょう。（飲料水の備蓄、常にお風呂に水をはっておく、給水された水を入れるポリタンクや、水を使わない簡易使い捨てトイレを備えておく）

冷暖房器具が使えない！

冷暖房器具が使えない状態でも、暖（涼）をとる手段を備えましょう。（P9「非常備蓄品」参照）

携帯電話に充電できない！

乾電池式充電器（乾電池も一緒に準備）とモバイルバッテリーを備えておくと安心です。

物が買えない！売っていない！

停電が起きてからでは、店に人が殺到し、商品が不足するため欲しいものが買えません。また停電が復旧しても物流が途絶えているため、食料品や日用品がしばらく買えない可能性も高いです。災害時に役立つものや普段から必要不可欠なものを事前に多めに備えておくことは非常に重要です。また、ガソリンも普段から残量が1/3ほどにならぬから給油するようにしておくと安心です。

★ 停電復旧時の火災を防ぐため、ブレーカーの電源を落とし、復旧後に電源を入れるようにしましょう。

避難場所一覧表

指定緊急避難場所：危険が切迫しているときに逃げる避難場所

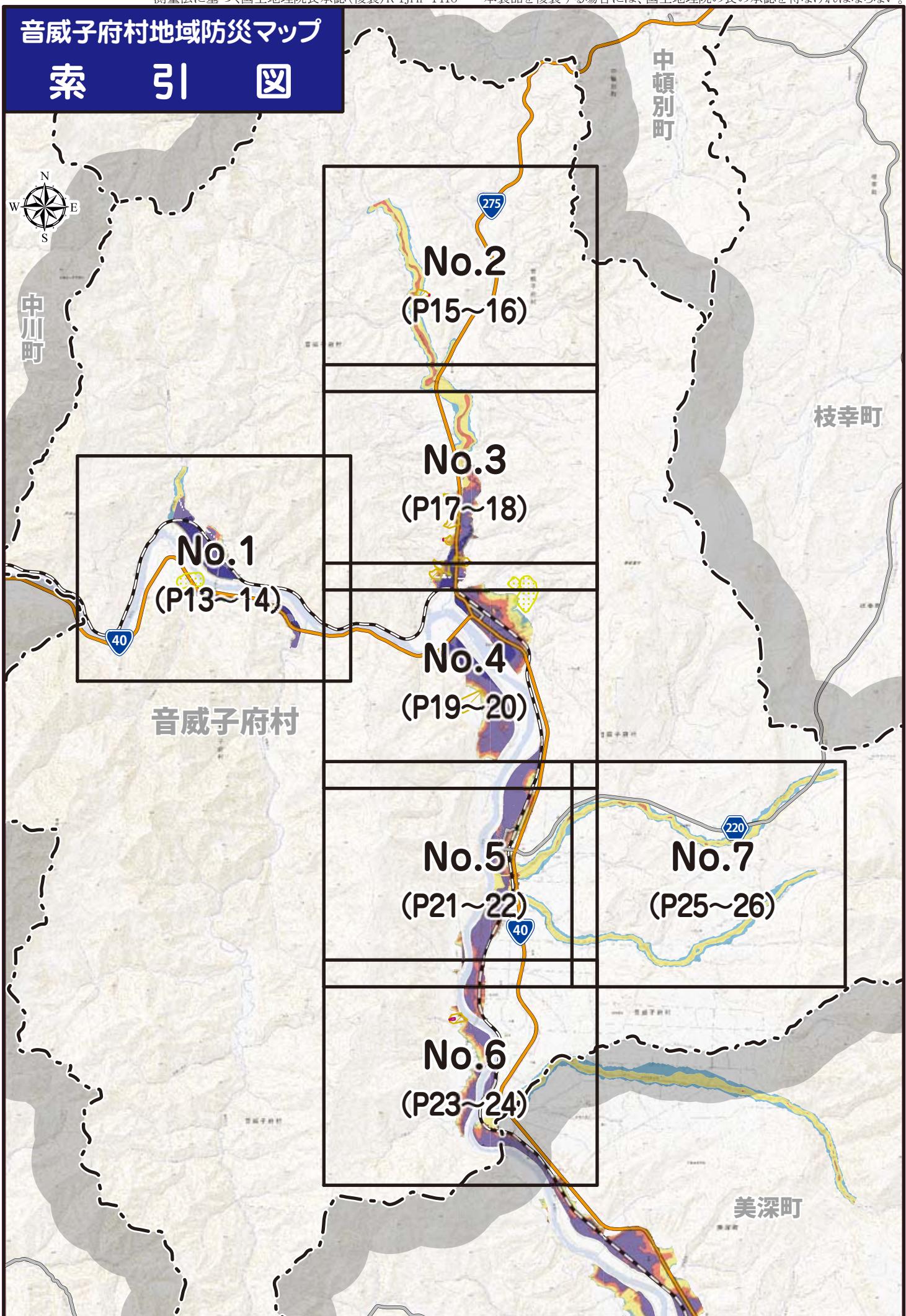
No	施設・場所名	住 所	電話番号 市外局番 (01656)	洪水	土砂 災害	地震	大規模 な火事	内水 氾濫
1	音威子府小中学校	字音威子府450番地1	5-3031	○	○	○	○	○
2	音威子府小中学校(体育館)	字音威子府450番地1	5-3031	○	○	○	○	○
3	音威子府小中学校(グラウンド)	字音威子府450番地1	5-3031	○	○	○	○	○
4	咲来公民館	字咲来389番地1	5-3124	○	○	○	○	○
5	咲来公民館(体育館)	字咲来389番地1	5-3124	○	○	○	○	○
6	咲来公民館(広場)	字咲来389番地1	5-3124	○	○	○	○	○
7	おといねっぷ美術工芸高等学校	字音威子府181番地	5-3044	○	○	○	○	○
8	おといねっぷ美術工芸高等学校 (体育館)	字音威子府181番地	5-3044	○	○	○	○	○
9	音威子府村山村広場	字音威子府180番地	—	○	○	○	○	○
10	(道の駅)おといねっぷ駐車場 (旭川開発建設部管内)	字音威子府155番地	—	○	○	○	○	○
11	音威子府村地域交流センター	字音威子府192番地8	—	○	○	○	○	○
12	音威富士スキー場ロッジ	字音威子府200番地5	5-3305	○	○	○	○	○
13	篠島会館	字物満内40番地1	—	○	○	○	○	○
14	音威子府村公民館	字音威子府444番地5	—	○	○	○	○	○
15	音威子府村福祉交流拠点 地域複合施設 ときわ	字音威子府509番地88	5-3565	○	○	○	○	○

指定避難所：自宅が被災したときなどに避難生活を送る場所

No	施 設 名	住 所	電話番号 市外局番 (01656)	備 考
1	おといねっぷ美術工芸高等学校	字音威子府181番地	5-3044	
2	おといねっぷ美術工芸高等学校 (体育館)	字音威子府181番地	5-3044	
3	音威子府村地域交流センター	字音威子府192番地8	—	
4	音威富士スキー場ロッジ	字音威子府200番地5	—	
5	音威子府村福祉交流拠点 地域複合施設 ときわ	字音威子府509番地88	5-3565	※福祉避難所も兼ねる

音威子府村地域防災マップ

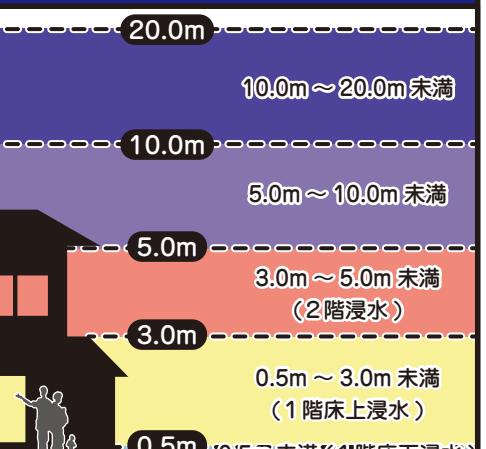
索 引 図



**音威子府村地域防災マップ
No. 1
(1/15,000)**

この図は、天塩川と頓別坊川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したもので。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

浸水深の目安



凡 例

● 指定緊急避難場所	■ 国道
■ 線路	□ 道道
---	行政界線
---	地区界線

土砂災害(特別)警戒区域

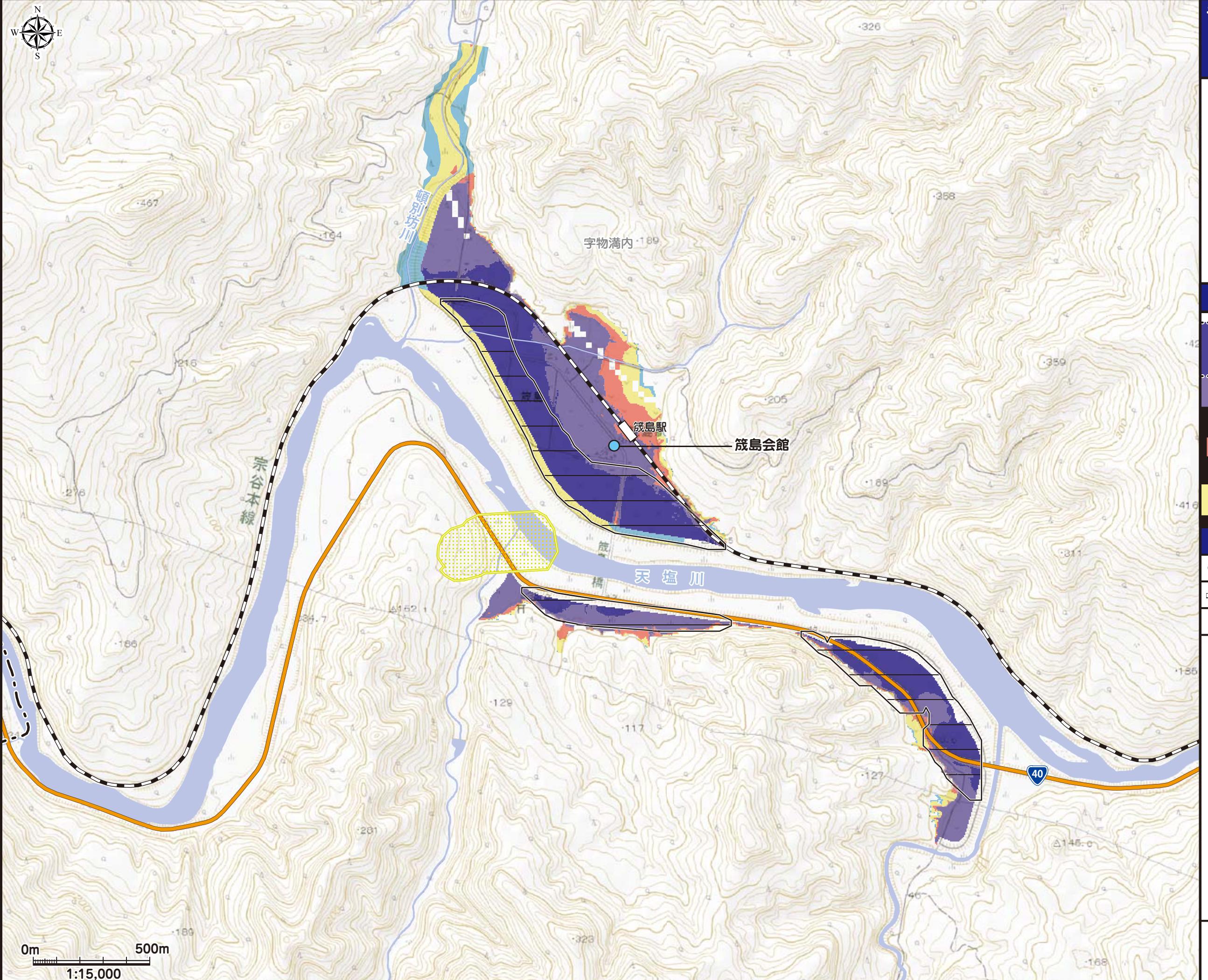


○**土砂災害警戒区域**とは
法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域(避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられる)。

○**土砂災害特別警戒区域**とは
警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域(一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制される)。

家屋倒壊等氾濫想定区域

※家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域



音威子府村地域防災マップ No. 2 (1/15,000)

この図は、音威子府川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したもので。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(土石流)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

浸水深の目安

20.0m	10.0m～20.0m未満
10.0m	5.0m～10.0m未満
5.0m	3.0m～5.0m未満 (2階浸水)
3.0m	0.5m～3.0m未満 (1階床上浸水)
0.5m	0.5m未満 (1階床下浸水)

凡 例

国道	道道
行政界線	地区界線

土砂災害(特別)警戒区域

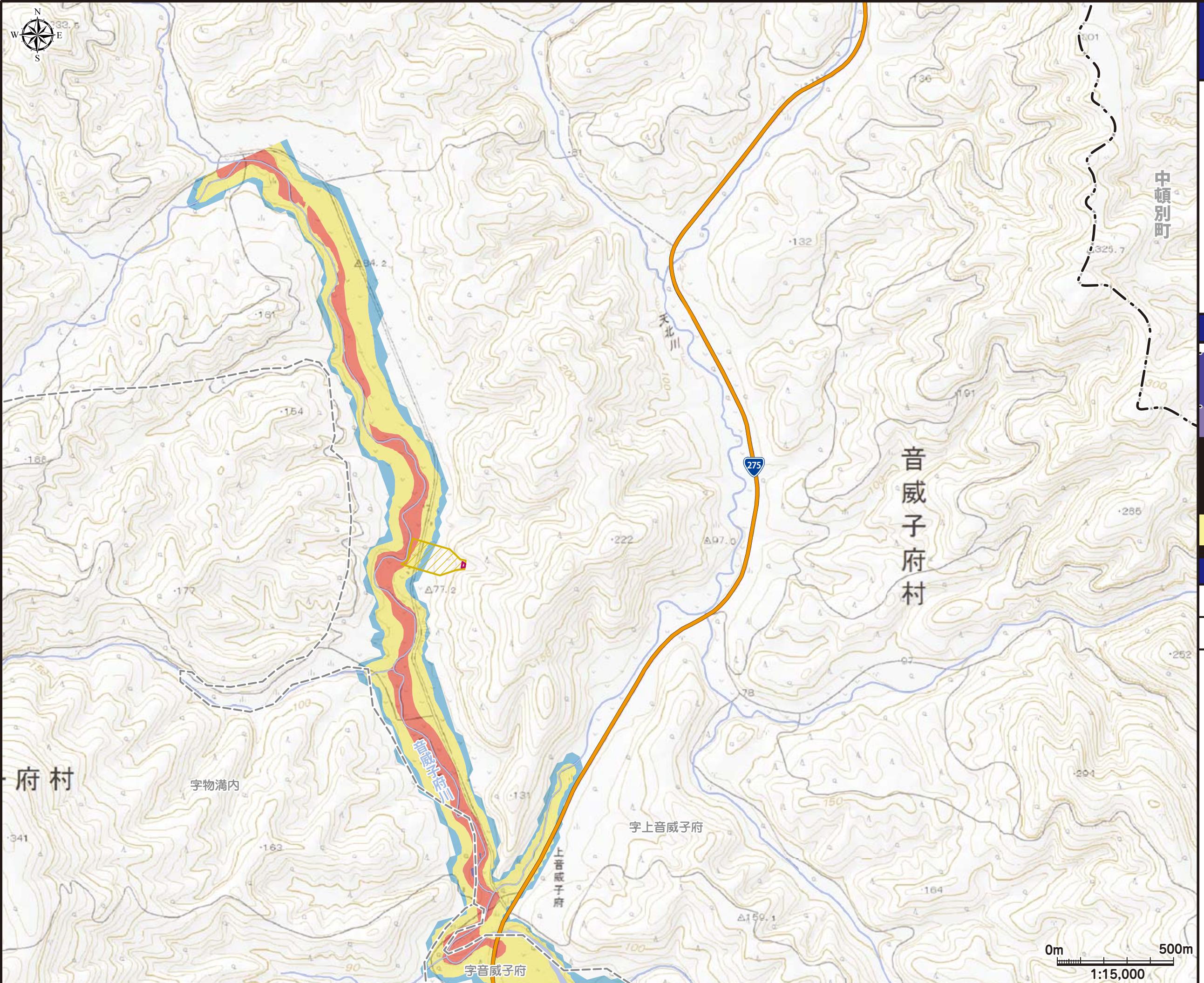
赤部分：土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	を示す
黄部分：土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	を示す

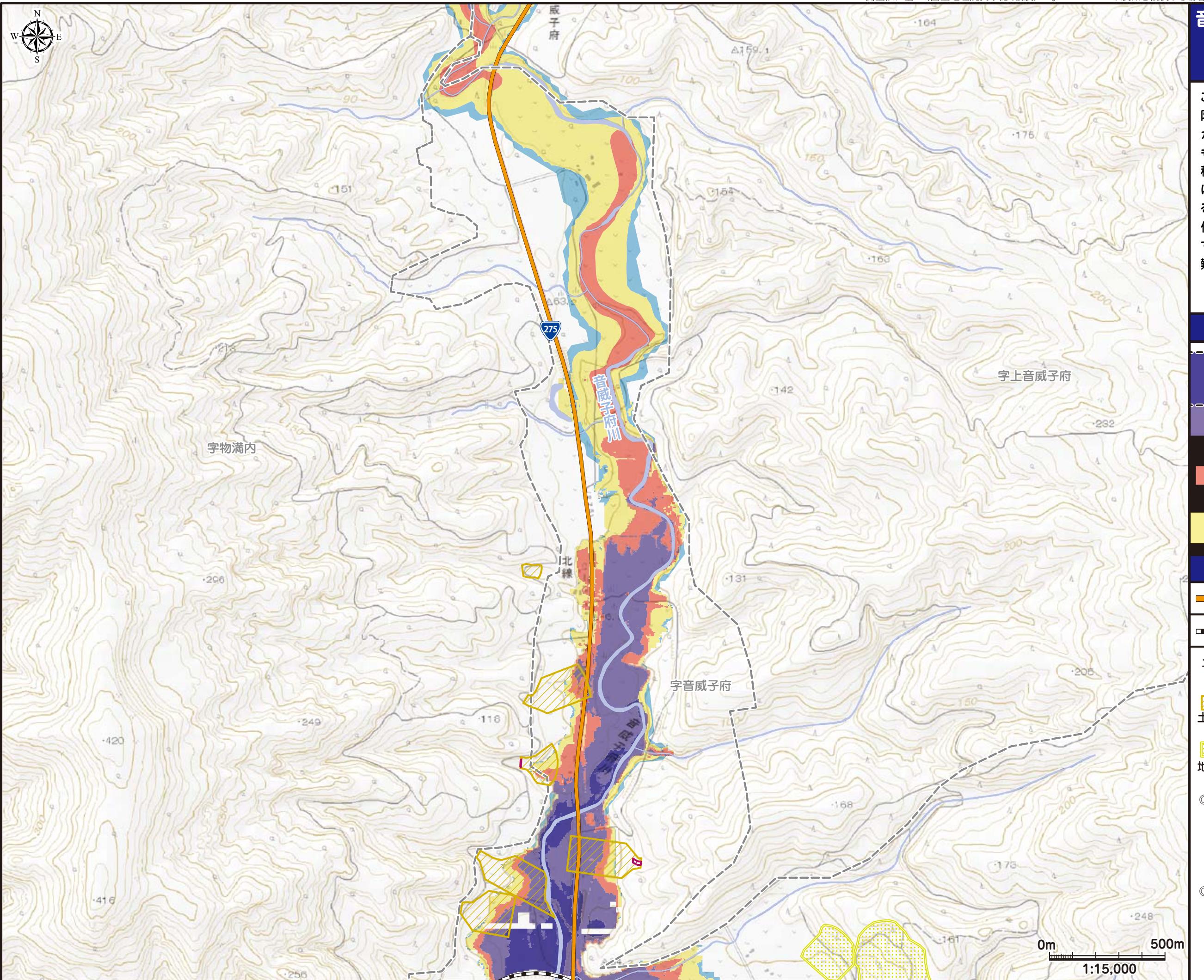
○土砂災害警戒区域とは

法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域(避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられる)。

○土砂災害特別警戒区域とは

警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域(一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制される)。





音威子府村地域防災マップ No. 3 (1/15,000)

この図は、音威子府川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したもので。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(土石流・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

浸水深の目安

20.0m	10.0m～20.0m未満
10.0m	5.0m～10.0m未満
5.0m	3.0m～5.0m未満 (2階浸水)
3.0m	0.5m～3.0m未満 (1階床上浸水)
0.5m	0.5m未満(1階床下浸水)

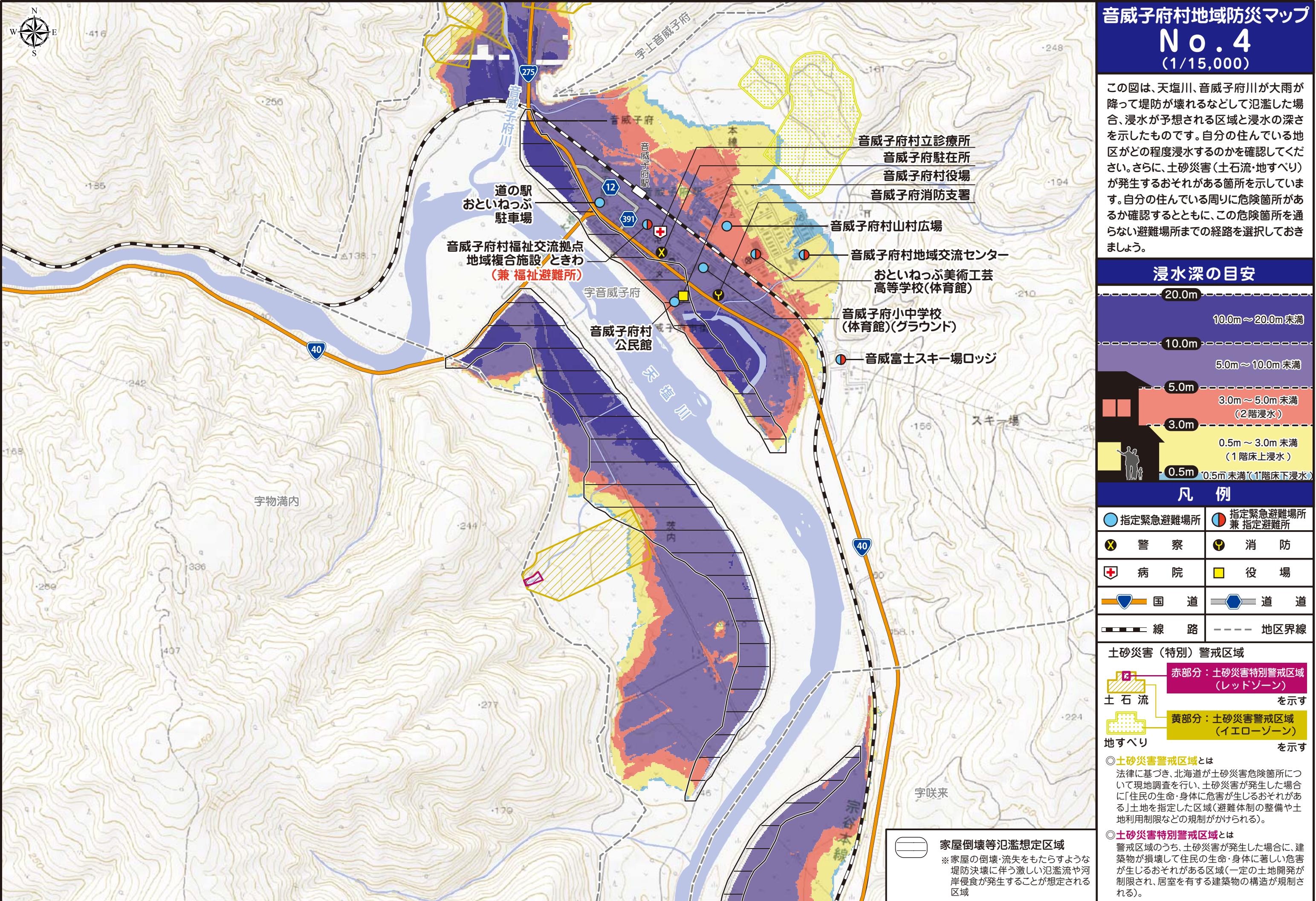
凡 例

■ 国道	□ 道道
■ 線路	□ 地区界線
■ 土砂災害(特別)警戒区域	

赤部分：土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	を示す
黄部分：土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	を示す

◎**土砂災害警戒区域**とは
法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域(避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられる)。

◎**土砂災害特別警戒区域**とは
警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域(一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制される)。



**音威子府村地域防災マップ
No. 5
(1/15,000)**

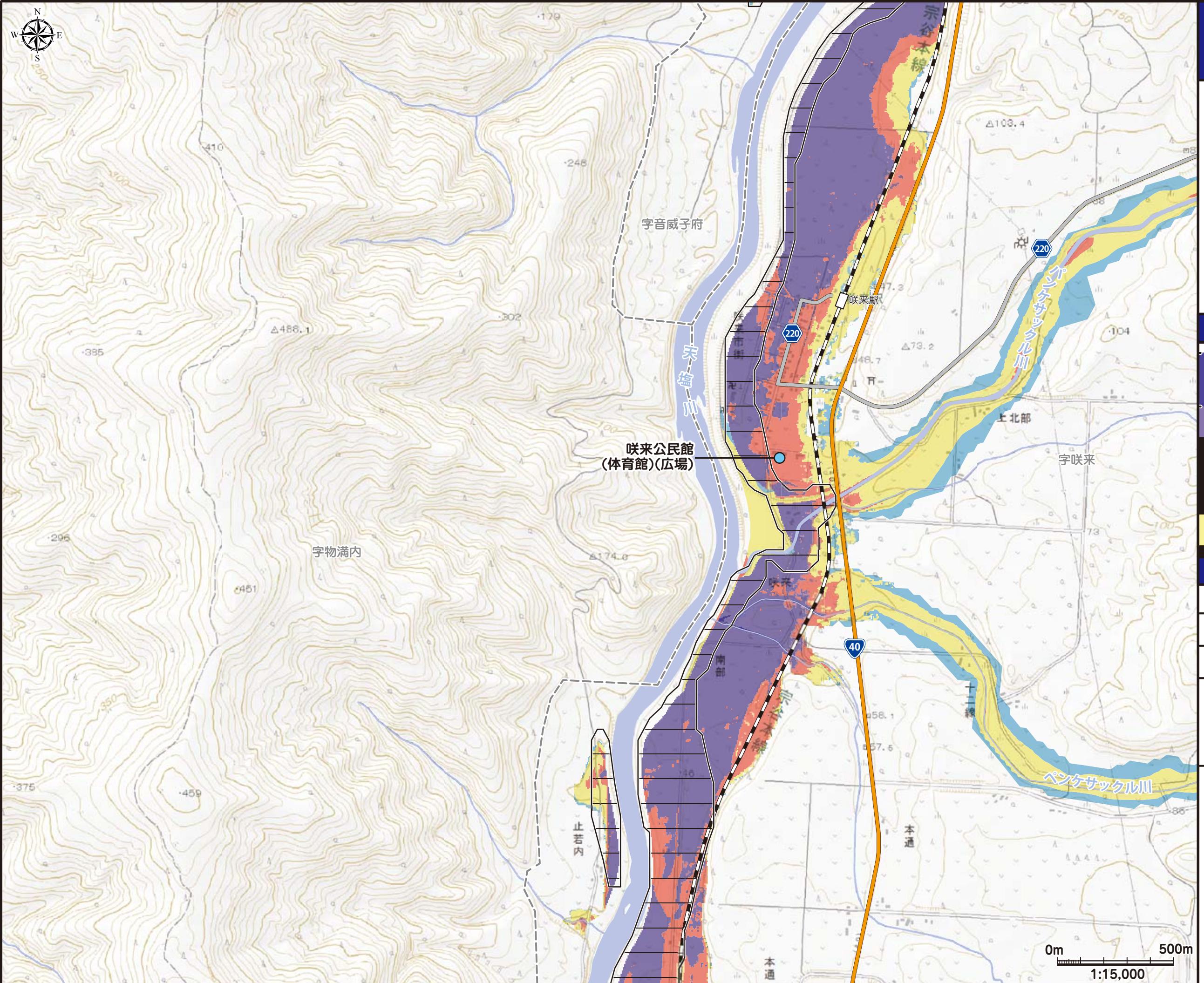
この図は、天塩川、パンケサックル川、パンケサックル川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したもので、自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

浸水深の目安

20.0m
10.0m～20.0m未満
10.0m
5.0m～10.0m未満
5.0m
3.0m～5.0m未満 (2階浸水)
3.0m
0.5m～3.0m未満 (1階床上浸水)
0.5m～0.5m未満(1階床下浸水)

凡 例

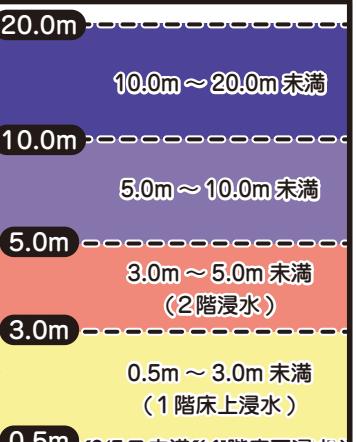
● 指定緊急避難場所	国 道
■ 線 路	道 道
--- 地区界線	
家屋倒壊等氾濫想定区域	
※家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域	



音威子府村地域防災マップ No. 6 (1/15,000)

この図は、天塩川、ペペケナイ川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(土石流)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

浸水深の目安



凡 例

国 道	行政界線
道 道	地区界線
線 路	

土砂災害(特別)警戒区域

	赤部分：土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
	黄部分：土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

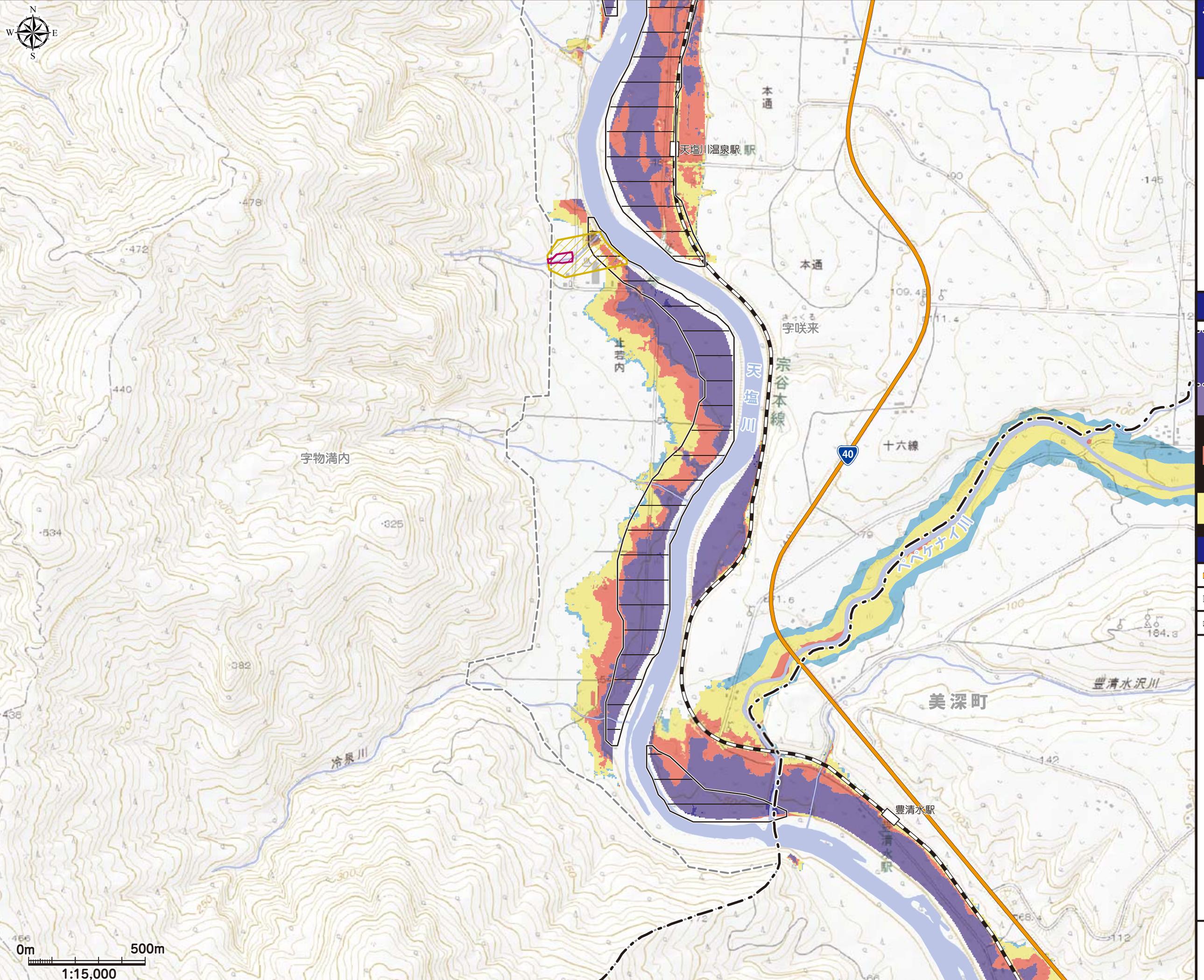
を示す
を示す

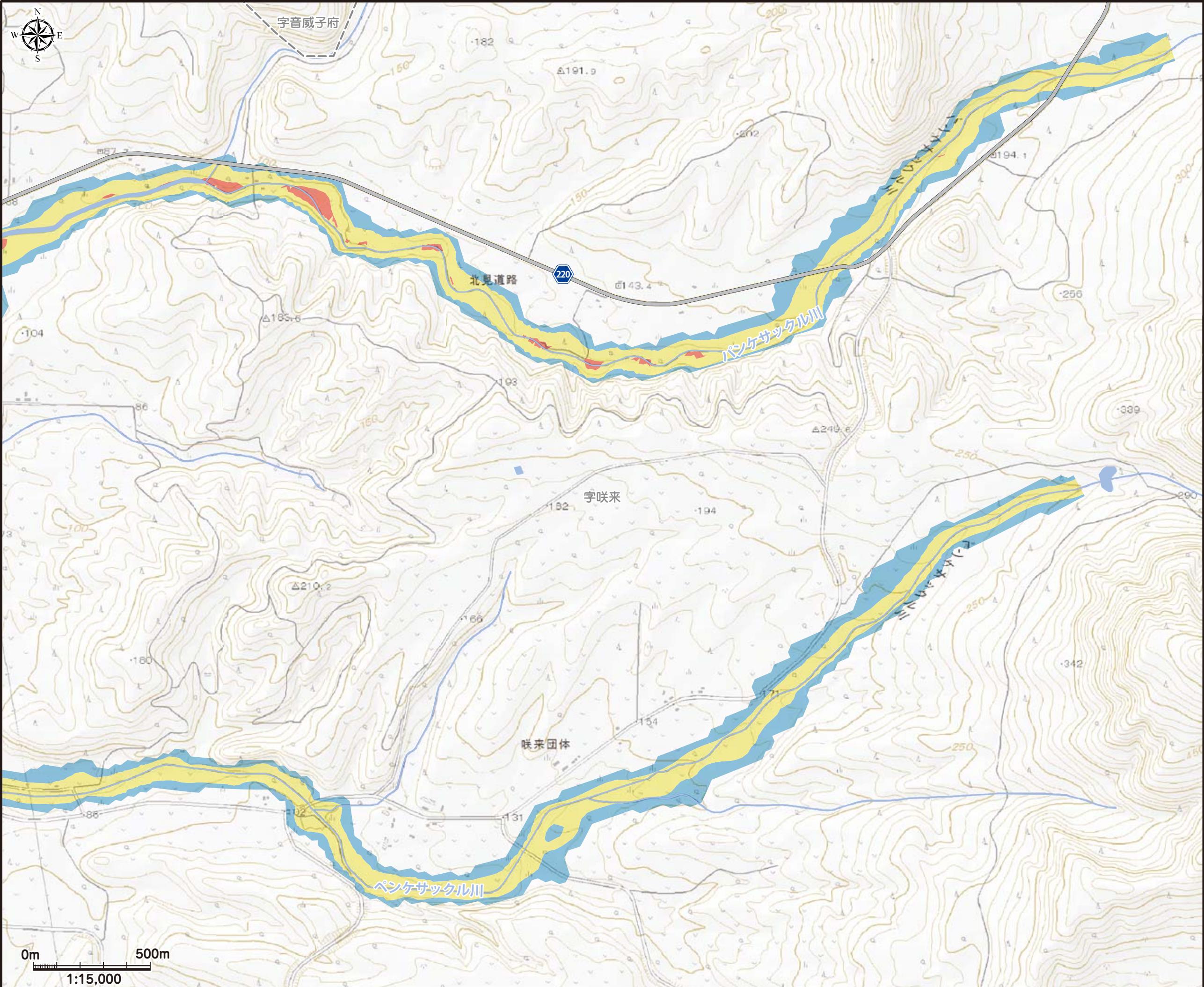
◎**土砂災害警戒区域**とは
法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域(避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられる)。

◎**土砂災害特別警戒区域**とは
警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域(一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制される)。

家屋倒壊等氾濫想定区域

※家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域





音威子府村地域防災マップ No. 7 (1/15,000)

この図は、パンケサックル川、ペンケサックル川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

浸水深の目安

20.0m	黒
10.0m ~ 20.0m 未満	青
10.0m	紫
5.0m ~ 10.0m 未満	黒
5.0m	赤
3.0m	黒
3.0m ~ 5.0m 未満 (2階浸水)	オレンジ
0.5m ~ 3.0m 未満 (1階床上浸水)	黄
0.5m ~ 0.5m 未満 (1階床下浸水)	白

凡例

国道 (Blue shield)	國道
Dashed line	地区界線